

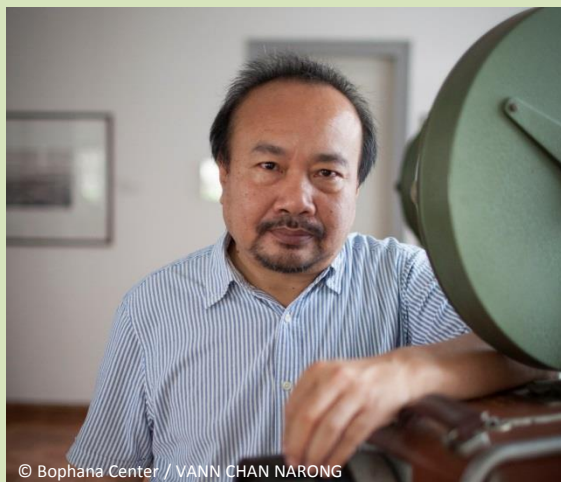
平和構築における文化芸術の役割：自分の声を探すための記憶の重要性 映画『S21クメール・ルージュの虐殺者たち』上映&対談

国際交流基金アジアセンターは、ドキュメンタリー映画を中心に国際的に高い評価を受けているカンボジアの巨匠リティ・パン監督をゲストに迎え、代表作『S21 クメール・ルージュの虐殺者たち』の上映を行います。映画上映後、日本映画大学の土田環准教授をモデレーターに、カンボジアの地域事情に詳しい日本映画大学 熊岡路矢教授とパン監督との対談を行います。クメール・ルージュが首都プノンペンを掌握した1975年から40年を迎える今年、パン監督がどのように過酷な記憶と向き合ってきたのか、後世にその記憶を伝える為にどのような活動をしているのか、自らお話しいただきます。是非、ご来場ください。

日時：2015年6月11日（木）
17:30開場／18:00開演
会場：国際交流基金 JFICホール「さくら」
(東京都新宿区四ツ谷4-4-1)

参加費：無料（定員：100名）※予約優先
予約方法：メールにて、お名前及びご所属を明記の上、件名を「6/11リティ・パン監督公開イベント」とし、以下のアドレス jfac_vdp_info@jpf.go.jp までお知らせください(6/10締切)。
※当日参加も受け付けますが、ご予約の方優先となります。

【プログラム】
18:00-19:50 『S21 クメール・ルージュの虐殺者たち』上映
(2002年/DVカム/101分/日本語・英語字幕)
20:00-21:00 対談「平和構築における文化芸術の役割：自分の声を探すための記憶の重要性」※日仏通訳



© Bophana Center / VANN CHAN NARONG

対談相手



熊岡路矢

日本映画大学教授。国連難民高等弁務官（UNHCR）、日本国際ボランティアセンター代表、東京大学大学院客員教授等を経て、現職。著書に『カンボジア最前線』（岩波新書）、『戦争の現場で考えた空爆、占領、難民』（彩流社）。

モデレーター



土田 環

日本映画大学准教授。立教大学ほか非常勤講師。学生時代より内外の映画祭や企画上映、撮影現場に携わる。編著書に『ペドロ・コスタ 世界へのまなざし』（せんだいメディアテーク）、『こども映画教室のすすめ』（春秋社）など。



リティ・パン* Rithy Panh 映画監督、ポバナ視聴覚リソースセンター代表

1964生まれ。1988年にフランス・高等映画学院（IDHEC）を卒業後、現在までにドキュメンタリー・フィクション問わず、20本以上の映画を製作。カンヌ国際映画祭ある視点部門グランプリ受賞作『消えた画 クメール・ルージュの真実』等、ドキュメンタリー映画を中心に国際的に高い評価を受けている。また、カンボジアの文化芸術省等と連携し設立した、カンボジアの視聴覚資料を収集・公開する「ポバナ視聴覚リソースセンター」を2006年に設立し代表を務めるほか、「カンボジア・フィルム・コミッション」を設立するなど、カンボジアの映像分野の牽引役として精力的に活動している。

*日本では「リティ・パニユ」と表記されることもありますが、ご本人の希望で上記の通りの表記としています。

S21 クメール・ルージュの虐殺者たち S21, the Khmer Rouge Killing Machine

2002年/フランス/カラー/DVカム/101分/日本語・英語字幕あり

かつての政治犯収容所「S21」。クメール・ルージュの大虐殺による加害者と被害者をその場所に集め、非人間的で過酷な日々を再現していく。証言で明らかになる真実の数々、対峙する2人のやりとりの迫真性が25年という時を越える。カンボジア生まれである監督の、故国への想いが静かに脈打つ。

会場までのアクセス

東京メトロ丸の内線 四谷三丁目駅
①番出口から徒歩3分



お問合せ：国際交流基金アジアセンター 文化事業チーム
リティ・パン公開イベント係 TEL：03-5369-6025

※本イベントは6/3以降、アジアセンターHP (<http://jfac.jp/>) でも予約登録が可能となります(6/10締切)。予約をお急ぎの方は、メール (jfac_vdp_info@jpf.go.jp) にてお申し込み下さい。

主催：国際交流基金アジアセンター、日本映画大学
後援：山形国際ドキュメンタリー映画祭
協力：ポバナ視聴覚リソースセンター、科学研究費補助金/基盤研究(B)
「一次資料と史的考察により語学を融合する人文科学としての東アジア映画学の構築」(課題番号15H03180)

ASIAcenter
JAPAN FOUNDATION 3

日本映画大学
JAPAN INSTITUTE OF THE MOVIE IMAGE

ប៊ុណា
BOPHANA